

いしかれん だより

第25号

2000. 8

石川県精神障害者
家族会連合会
〒920-0064 金沢市南新保町ル3番1
石川県精神保健福祉センター内
TEL (076) 238-5761
FAX (076) 238-5762

巻頭言

なごみの郷のスタートにあたって

～木のぬくもり、笑顔、コーヒーの香り～

なごみの郷施設長

中 田 なみ子



社会福祉法人なごみの郷が運営する精神障害者社会復帰施設（福祉ホームなごみ、地域生活支援センターなごみ、通所授産施設つばさ）がオープンして早4ヶ月が過ぎました。

フィンランドパインの木の香に包まれて、利用者の皆さんも職員もやっと落ち着きつつあるように感じるこの頃です。7月からは団体の見学受け入れも始まり、地域生活支援センターなごみ内の喫茶「ウッディ」や授産施設つばさの売店コーナーも営業を開始しました。

喫茶「ウッディ」は物めずらしさも手伝ってか、連日繁盛しています。コーヒー200円、ソーダフロート400円、等々その安さと、店員さん達のあいその良い笑顔がこの店の売り物です。毎日通って、決まってイチゴフラッペを注文する常連さんも現れました。売店コーナーは、この春から地元の駅前商店街で開いている福祉ショップ「夢倶楽部つばさ」でレジ打ちと接客の腕をみがいてきた担当メンバーの人達が交替で店に立っています。福祉ショップのほうの店番もあるのでフル回転の

毎日です。

なごみの郷は家族会（くろゆり会）はじめボランティア、当事者、行政、その他多くの人々の思いの詰まった施設です。建物の間取りを決めたり、お風呂場のタイルの色、照明器具、家具、一つ一つできるかぎりみんなで話し合って決めてきました。まさしく手作りの施設だと自負しています。しかし本当にこの施設がこの地域にあってよかったと利用者や家族の皆さんに思ってもらえるようになるかどうかは、これからの運営にかかっていると思います。建物ばかり立派になっても、本当に困っている人たちに役に立てるか、タイムリーなサービスが提供していけるかはこれからです。職員一人一人の責任も大きいし、これまでいろいろな思い入れでかかわって下さった人達、そして何よりなごみの郷を必要とする利用者の皆さんと協力しながら、なごみの郷を育てていこうと思っています。春に植えたばかりの樺の木や桜の木、黄楊やつつじも日に日に緑濃くなっています。どうぞ、なごみの郷へ足をお運びください。みんなで、美味しいコーヒーを用意してお待ちしております。

石川県精神障害者家族会連合会 平成12年度総会開催される

平成12年6月21日 石川県精神保健福祉センターに於いて 参加者82名

総会を終えて

二十世紀最後 梅雨時のむし暑い日の総会も多数の皆様方の出席をいただき、無事終わりましたことを厚く御礼申し上げます。

来年からは二十一世紀へと移行行く中で私たち家族会はどうあるべきか、又何をすべきか。過去十年間をひるがえってみるとずいぶん変わって来たと思いますが、今後はさらに力量が問われて来るのではないのでしょうか。ご承知のように、社会福祉事業法が改正されました。この法律で、小規模作業所の法人化への要件が緩和されました。県内としては地域の事情に応じて法内施設も視野に入れては

石川県精神障害者家族会連合会

会長 西 出 外 次

どうでしょうか。今のうちから、書類作成、経理、制度等について石家連等で研究をしていくのもいいでしょう。

次に今年度の新しい企画として、「大会参加費6万円」をとりやめ、その分を事業拡大にまわしました。大会参加費は、各家族会で考えていただきます。会報は年二回から三回発行にしました。各単会の新しいニュースや、お互いの知識を高める内容をもりこみ、より読みやすいものにしてゆきたいと思っています。皆様のお気付きの点を編集係の方へ連絡してください。



講演「心癒される福祉とは」

講師 小松市社会福祉協議会会長

木 崎 馨 山

概要 福祉の基本的なテーマとしてノーマライゼーションがあります。それには①個人の生活をどうエンジョイさせるか。②経験の機会をどう作りだすか。③自己決定の実現。声なき声をどう聞いていくか。④異性との交際⑤ノーマルな経済基準 ⑥環境の質を上げる。従来の大きな施設に収容される場から各々の思いを実現出来る場の集合体へ変わって行く必要がある。精神保健福祉の質を高める場として病院福祉施設をもう一度再構築する必要がある。

以上のことを市町村に働きかける必要がある。待っていても行政は動いてくれない。当事者、家族が訴えていかなければ決して変わることはありません。なごみの郷の設立を通じてよく分かりました。また、地域住民にも、誤解によって理解して頂けないこともあるので、当事者、家族、それをサポートする人達が理解を求めていくことが大切です。

本当の幸せと福祉について考えるとき、現

代人の問題に行き当たる。どんなことをやっても喜びに通じない、達成感がない、そういう人生の中では福祉の福の部分が達成出来ないのではないか。人間の欲望とは何なのか。より豊かなものを手にいれようとするのは本能であって、間違いではないがそれを続けていったときにどうなるのだろうか。日本人1人生きるのに、アフリカの人250人分のエネルギーを消費しているといわれている。人間の欲望を肥大化することで資本主義が発達してきたがこれを続けていると、パンクして環境問題に結びつく。だから小さいほうがいいのだ。なごみの郷の時も思いました。「いかに小さく、いかに効率的に、いかにぬくもりを感じて生活出来るか。」より快適な空間で日常生活の延長の中で、さりげないサービスを受けることを願いました。

福祉にはより豊かさを求めるのではなく、よりぬくもりを求めてゆきたい。

単会活動報告

鳴和の里 家族会では一人一役でこんなことをしています

5月 総会と講演

演題 『成年後見制度について』

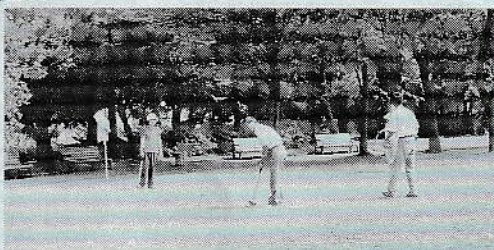
山口民雄弁護士

7月 テーマ別話し合い

『親なき後をどうしたらよいか』

『病院とどのように関わっていけばよいか』

9月 グランドゴルフ大会



12月

忘年会

2月

市連の新年会参加

3月 例会

来年度の家族会活動を考える

6月 例会

『知っていて得するこんな情報』

ありますよ！』

8月

福祉のつどいと
ホテルでのビアパーティ



10月 例会

北信越大会・全国大会の報告

11月

施設見学と会員お別れ会

高松町グループホーム

『ふれあい荘』

援護寮 『まつかぜハイツ』

1月

例会

近況報告と教えてくださいコーナー

4月

兼六園花見と

観光会館『ほんだの森』での食事会

楽しくて
ためになる
例会を！

一人一役って？（自分のできることから家族会を支える。一人三役の方も）

★会報『すぎな』担当 5人

★忘年会担当 3人

★記録 2人

★例会担当（前期と後期）8人

★市連・石家連担当 3人

★製品ボランティア 10人

★全国・北信越大会担当 3人

★ぜんかれん誌担当 2人

★観光会館ボランティア 3人

★施設見学担当 2人

★会計 2人

職域の拡大を求めて！

昨年9月より、週に1回の割で民間事業所へ出かけての仕事を始めました。これは、少しでも経済的に安定し、自立できるようにという願いから始まったものです。家族がジョブコーチとしてつき添っての所外作業です。試行段階ですが、社会との接点になれば…と願っています。

— 特集 —

なごみの郷で

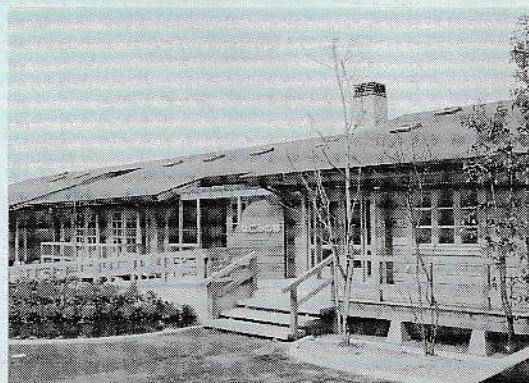
「福祉ホームに入って」



井 口 美智子

福祉ホームに入って、毎日家で一人でいた時より、仲間達と一緒にすごせて、さみしくなくなりました。

食事も、栄養士さんのつくるものはおいしいです。まだ、ここにきて二ヶ月ですが、生活費がだいたいどれだけかかるのか、少ししかわからないので、本格的に考えています。福祉ホームにいられるのは、二年と聞きました。二年後またどうすればいいのか今から不安です。また、もとの一人でさみしい生活は私には耐えられません。家にいた時、さみしさに耐えられなくて、親戚に迷惑をよくかけたので、そのためにこのホームは大切です。ホームでみんな仲良く楽しく過ごせる今、私は幸せです。



「苦しみから楽しみに変わった四年間」



小松能美地区 家族会長 西 出 外 次

私達は住民参加型法人施設を目標として約四年間、山あり谷あり時には雲をつかむような中で家族会は最後まで一致団結。駅より2.5km目標通りの場所に建設出来た事は喜ばしい次第です。

授産施設は20名、福祉ホームは10室。初めは3、4名入所ぐらいに思っていたが、申込み受付と同時に満室になったのは驚きとともに必要性をつくづく感じさせられました。

今入所の皆さんは人が変わった程元気です。時折、私が尋ねて「元気か」と言葉をかけると、必ず笑顔で「ウン、元気ですよ。」と返ってくる。なんと微笑ましい事でしょう。

むしろ、家族の方々が心配と淋しさがあるようです。早く子ばなれして下さいね。



家族会 宮 北 貞 子



なごみの郷がオープン。実現に至るまで、私達家族は当事者と生活していて色々な気苦労をして来ました。今はお陰様でなごみの郷で生活していて、ほっとしています。

親とはなれて息子も少し自立の様子がうかがえます。うれしい事だなと痛感している次第です。私達家族の人もきっとそう感じているのではないのでしょうか？安心して思います。当事者の方々も立派な建物の中で快適な生活に満ちていると喜んでいます。ありがとうございます。仲間と人間関係や生活の常識的な事、色々家庭で分からなかった事が体験出来て良かったな、きっと自然に色々身について立派な人柄になれるでしょうね。期待しています。

当事者を見守って下さる色々な関係者の皆様、大変ではございましょうが今後ともよろしくお願い致します。

暮らしています

「福祉ホームに入って」

加藤 秀人

福祉ホームに入れて父親とわかれてよかったと思います。憩いの中でテレビを見たりお話ししたりおたがいの家のいごちの話で自分ひとりだけではなく、皆がよく似た家の中で生活していることがわかりました。おにぎりをもって自分でおかずを買ってきて、まず食費をきりつめたのですが、指導員の人や家の人に“栄養のあるものを”食べるように言われて夕食だけは栄養士さんの作った料理を食べています。年金の一ヵ月分を自分で貯金してなんとか一ヶ月3万円の貯金ができればよいと思っています。最近、テレビデオを買って少しリッチな気分になりました。もっと給料をたくさんもらえるようになれば、ためたお金で自動車の免許を取って新聞配達して欲しいものをためたお金で買いたい。快適に暮らすために今度はイスと小さなテーブルが手に入ればよいと思っています。



“なごみの郷” に来て

野田 幸子

私は、ここへ来るまでは、12年間アパートで一人暮らしをしていました。

福祉ホームなごみの一室は、一人で住むには勿体ない程の部屋です。家賃も安く、お風呂へは廊下つたいで行ける事と、入浴、洗濯機、乾燥機この三つは何回使おうと月に千円とは実に魅力です。昼食、夕食を作ってもらえるのも有り難い事の一つです。

福祉ホーム「なごみ」

管理人 三上 紀美恵

4月から福祉ホームの管理人として勤務しております。それまでは作業所の非常勤スタッフとして3年間働いていました。利用者の「職」の部分しか知らなかったのので「住」の部分にかかわるのは、正直なところ非常に不安がありました。

福祉ホーム「なごみ」は10室10名の方が入所可能です。4月末から5月末まで体験入所を行ない、6月末で正式入所8名となっています。今後残りの2室も入所予定の方が待機中です。利用者が町のアパートで生活するように、あまり手や口を出さず、さりげなく生活の支援ができるようにと考えています。今後、種々多様な問題がでてくるとは思いますが、私一人で抱えきれないところはなごみの郷のスタッフと話し合いながら、入所者が快適に暮らせるよう努力してゆきたいと思っています。



トピックス

小松に「なごみの郷」オープン！

4月12日小松市北浅井町に開設されました。

- ・地域生活支援センター（なごみ）
- ・福祉ホーム（なごみ）
- ・通所授産施設（つばさ）

の3施設を備えた木の香りに満ちたログハウスです。

福祉工場「矢田野ファクトリー」オープン！

5月に小松市矢田野町に県下初の福祉工場を開店オープンしました。

主な作業内容はクリーニングです。

運営は社会福祉法人 共友会

手帳サービスの拡大を求める200万人請願署名運動

国会への提出は秋頃の予定。200万人に達するまで、継続することに全家連理事会で決まりました。石川県の目標は20,000人で7月現在18,959人。目標達成まであと1,041人です。がんばりましょう。

お知らせ

ふれあいフェスティバル 平成12年9月10日(日) 産業展示館 4号館

今年も3障害合同で行われます。

だしもの 展示コーナー・作品展示コーナー・販売コーナー・体験コーナー
スポーツコーナー・ゲームコーナー・福祉相談コーナー

北信越ブロック研修会 平成12年9月21日(木)・22日(金)

長野市メルパルクながの

テーマ 「法改正後の精神保健福祉活動のあり方を展望する」

－家族会、関係機関の果たす役割について－

編集後記

新任家族会長

H12.5.20 で鳴和の里家族会の会長さんが変わりました。

新会長 加藤悦大氏

梅雨らしい雨も降らないまゝ、暑い夏がやって来ましたが、皆様お元気でしょうか。

- 今年の春には県内の社会復帰施設「なごみの郷」と「矢田野ファクトリー」が引き続いて小松市に誕生しました。今回はそのなごみの郷の特集を組みました。設立にこぎつけた職員、家族、当事者の思いが伝わって来ます。
- 家族会活動の紹介を新しく載せたいと考えて第一回を鳴和の里家族会にお願いしました。参考になるところは、大いに参考にさせて頂きましょう。

これからも、この企画を連載していきますので、「うちではこんなふうにやっています」という原稿を是非お寄せください。